五六二」に、「一・四八〇」を「一・五〇八」に、「一・四二四」を「一・四五一」に、「一・三四六」を「一・三七二」に、「一・三一一」を「一・三三六」に、「一・二七九」を「一・三〇三」に、「一・二二〇」を「一・二二五」に、「一・一四七」を「一・一六九」に、「一・一一三」を「一・一三六」に、「一・〇九二」を「一・一一三」に、「一・〇七二」を「一・〇九二」に、「一・〇四九」を「一・〇六九」に、「一・〇三六」を「一・〇五六」に、「一・〇二三」を「一・〇四二」に、「一・〇一〇」を「一・〇二九」に、「一・〇〇九」を「一・〇二八」に、「一・〇〇七」を「一・〇一七」に、「一・〇三六」に、「一・〇二二」を「一・〇四一」に、「一・〇二四」を「一・〇三五」に、「一・〇二五」を「一・〇二二」に、「一・〇一六」を「一・〇三五」に、「一・〇二八」を「一・〇四八」に、「〇・九九八」を「一・〇一五」に、「〇・九九六」を「一・〇一二」に、「〇・九八三」を「一・〇〇二」に、「〇・九八〇」を「〇・九九九」に、「〇・九五八」を「〇・九八〇」に改め、同表令和五年四月から令和六年三月までの項中「〇・九二八」を「〇・九四九」に改め、同表に次のように加える。

令和七年四月から令和八年三月まで	〇・九二四

別表第一第九号の表中「一五・四一四」を「一五・七〇七」に、「一五・〇八一」を「一五・三六八」に、「一四・八七四」を「一五・一五七」に、「一二・三〇〇」を「一二・五三四」に、「一一・一七三」を「一一・五八九」に、「一〇・二七〇」を「一〇・四六五」に、「九・四二九」を「九・六〇八」に、「八・六六八」を「八・八三三」に、「七・五八四」を「七・七二八」に、「六・九六六」を「七・〇九八」に、「六・七七七」を「六・九〇六」に、「五・九九六」を「六・一一〇」に、「四・五八二」を「四・六六九」に、「三・九七六」を「四・〇五二」に、「二・九一八」を「二・九七三」に、「二・五三〇」を「二・〇九二」に、「一・八八八」を「一・九二四」を「一・七八八」を「一・八二二」に、「一・六一〇」を「一・六四二」に、「一・四八一」を「一・五〇九」に、「一・四二四」を「一・四五二」に、「一・三七三」を「一・三三八」に、「一・二八〇」を「一・三〇四」に、「一・二二六」を「一・二八八」に、「一・一四八」を「一・一七〇」に、「一・一一六」を「一・一三七」に、「一・〇九三」を「一・一一四」に、「一・〇七二」を「一・〇九二」に、「一・〇五七」を「一・〇七九」に、「一・〇三〇」を「一・〇五七」に、「一・〇一〇」を「一・〇二九」に、「一・〇〇九」を「一・〇二八」に、「一・〇一八」を「一・〇三九」に、「一・〇三七」を「一・〇二〇」に、「一・〇二〇」を「一・〇三四」に、「一・〇一四」を「一・〇二二」に、「一・〇〇一」を「一・〇二六」に、「一・〇四二」を「一・〇四五」に、「一・〇二六」を「一・〇四九」に、「一・〇二三」を「一・〇一五」に、「一・〇一〇」を「一・〇二九」に、「一・〇〇九」を「一・〇二八」に、「一・〇〇八」を「一・〇二七」に、「一・〇〇六」を「一・〇二五」に、「一・〇〇五」を「一・〇二四」に、「一・〇〇四」を「一・〇二三」に、「一・〇〇三」を「一・〇二二」に、「一・〇〇二」を「一・〇二一」に、「一・〇〇一」を「一・〇二〇」に、「一・〇〇〇」を「一・〇一九」に、「〇・九九九」を「一・〇一八」に、「〇・九九八」を「一・〇一七」に、「〇・九九七」を「一・〇一六」に、「〇・九九六」を「一・〇一五」に、「〇・九九五」を「一・〇一四」に、「〇・九九四」を「一・〇一三」に、「〇・九九三」を「一・〇一二」に、「〇・九九二」を「一・〇一一」に、「〇・九九一」を「一・〇一〇」に、「〇・九九〇」を「一・〇〇九」に、「〇・九八九」を「一・〇〇八」に、「〇・九八八」を「一・〇〇七」に、「〇・九八七」を「一・〇〇六」に、「〇・九八六」を「一・〇〇五」に、「〇・九八五」を「一・〇〇四」に、「〇・九八四」を「一・〇〇三」に、「〇・九八三」を「一・〇〇二」に、「〇・九八二」を「一・〇〇一」に、「〇・九八一」を「一・〇〇〇」に、「〇・九八〇」を「〇・九九九」に、「〇・九七九」を「〇・九九八」に、「〇・九七八」を「〇・九九七」に改め、同表令和五年四月から令和六年三月までの項中「〇・九二六」を「〇・九四七」に改め、同表令和六年四月から令和七年三月までの項中「〇・九二二」に改め、同表に次のように加える。

令和七年四月から令和八年三月まで	〇・九二二

別表第一第十号の表以外の部分中「昭和三十二年四月一日」を「昭和三十三年四月一日」に改め、同表中「一五・四五九」を「一五・七五三」に、「一五・一二六」を「一五・四一三」に、「一四・九一八」を「一四・〇六〇」に、「一四・〇七九」を「一四・三〇一」に、「一三・九八八」を「一四・〇六四」に、「一三・九七七」を「一三・九八八」に、「一三・九五九」を「一三・九七七」に、「一三・九四〇」を「一三・九五九」に、「一三・九二一」を「一三・九四〇」に、「一三・九〇二」を「一三・九二一」に、「一三・八八三」を「一三・九〇二」に、「一三・八六四」を「一三・八八三」に、「一三・八四五」を「一三・八六四」に、「一三・八二六」を「一三・八四五」に、「一三・八〇七」を「一三・八二六」に、「一三・七八八」を「一三・八〇七」に、「一三・七六九」を「一三・七八八」に、「一三・七五〇」を「一三・七六九」に、「一三・七三一」を「一三・七五〇」に、「一三・七一二」を「一三・七三一」に、「一三・六九三」を「一三・七一二」に、「一三・六七四」を「一三・六九三」に、「一三・六五五」を「一三・六七四」に、「一三・六三六」を「一三・六五五」に、「一三・六一七」を「一三・六三六」に、「一三・五九八」を「一三・六一七」に、「一三・五七九」を「一三・五九八」に、「一三・五六〇」を「一三・五七九」に、「一三・五四一」を「一三・五六〇」に、「一三・五二二」を「一三・五四一」に、「一三・五〇三」を「一三・五二二」に、「一三・四八四」を「一三・五〇三」に、「一三・四六五」を「一三・四八四」に、「一三・四四六」を「一三・四六五」に、「一三・四二七」を「一三・四四六」に、「一三・四〇八」を「一三・四二七」に、「一三・三八九」を「一三・四〇八」に、「一三・三七〇」を「一三・三八九」に、「一三・三五一」を「一三・三七〇」に、「一三・三三二」を「一三・三五一」に、「一三・三一三」を「一三・三三二」に、「一三・二九四」を「一三・三一三」に、「一三・二七五」を「一三・二九四」に、「一三・二五六」を「一三・二七五」に、「一三・二三七」を「一三・二五六」に、「一三・二一八」を「一三・二三七」に、「一三・一九九」を「一三・二一八」に、「一三・一八〇」を「一三・一九九」に、「一三・一六一」を「一三・一八〇」に、「一三・一四二」を「一三・一六一」に、「一三・一二三」を「一三・一四二」に、「一三・一〇四」を「一三・一二三」に、「一三・〇八五」を「一三・一〇四」に、「一三・〇六六」を「一三・〇八五」に、「一三・〇四七」を「一三・〇六六」に、「一三・〇二八」を「一三・〇四七」に、「一三・〇〇九」を「一三・〇二八」に、「一二・九八九」を「一三・〇〇九」に、「一二・九七〇」を「一二・九八九」に、「一二・九五一」を「一二・九七〇」に、「一二・九三二」を「一二・九五一」に、「一二・九一三」を「一二・九三二」に、「一二・八九四」を「一二・九一三」に、「一二・八七五」を「一二・八九四」に、「一二・八五六」を「一二・八七五」に、「一二・八三七」を「一二・八五六」に、「一二・八一八」を「一二・八三七」に、「一二・七九九」を「一二・八一八」に、「一二・七七九」を「一二・七九九」に、「一二・七六〇」を「一二・七七九」に、「一二・七四一」を「一二・七六〇」に、「一二・七二二」を「一二・七四一」に、「一二・七〇三」を「一二・七二二」に、「一二・六八四」を「一二・七〇三」に、「一二・六六五」を「一二・六八四」に、「一二・六四六」を「一二・六六五」に、「一二・六二七」を「一二・六四六」に、「一二・六〇八」を「一二・六二七」に、「一二・五八九」を「一二・六〇八」に、「一二・五七〇」を「一二・五八九」に、「一二・五五一」を「一二・五七〇」に、「一二・五三二」を「一二・五五一」に、「一二・五一三」を「一二・五三二」に、「一二・四九四」を「一二・五一三」に、「一二・四七五」を「一二・四九四」に、「一二・四五六」を「一二・四七五」に、「一二・四三七」を「一二・四五六」に、「一二・四一八」を「一二・四三七」に、「一二・三九九」を「一二・四一八」に、「一二・三七九」を「一二・三九九」に、「一二・三六〇」を「一二・三七九」に、「一二・三四一」を「一二・三六〇」に、「一二・三二二」を「一二・三四一」に、「一二・三〇三」を「一二・三二二」に、「一二・二八四」を「一二・三〇三」に、「一二・二六五」を「一二・二八四」に、「一二・二四六」を「一二・二六五」に、「一二・二二七」を「一二・二四六」に、「一二・二〇八」を「一二・二二七」に、「一二・一八九」を「一二・二〇八」に、「一二・一六九」を「一二・一八九」に、「一二・一四〇」を「一二・一六九」に、「一二・一一七」を「一二・一四〇」に、「一二・〇九八」を「一二・一一七」に、「一二・〇七五」を「一二・〇九八」に、「一二・〇五三」を「一二・〇七五」に、「一二・〇三二」を「一二・〇五三」に、「一二・〇一〇」を「一二・〇三二」に、「一一・九八八」を「一二・〇一〇」に、「一一・九六七」を「一一・九八八」に、「一一・九四五」を「一一・九六七」に、「一一・九二四」を「一一・九四五」に、「一一・八九四」を「一一・九二四」に、「一一・八七三」を「一一・八九四」に、「一一・八五二」を「一一・八七三」に、「一一・八三一」を「一一・八五二」に、「一一・八〇九」を「一一・八三一」に、「一一・七八八」を「一一・八〇九」に、「一一・七六七」を「一一・七八八」に、「一一・七四五」を「一一・七六七」に、「一一・七二四」を「一一・七四五」に、「一一・七〇二」を「一一・七二四」に、「一一・六七九」を「一一・七〇二」に、「一一・六五八」を「一一・六七九」に、「一一・六三六」を「一一・六五八」に、「一一・六一五」を「一一・六三六」に、「一一・五九三」を「一一・六一五」に、「一一・五七一」を「一一・五九三」に、「一一・五四八」を「一一・五七一」に、「一一・五二五」を「一一・五四八」に、「一一・五〇二」を「一一・五二五」に、「一一・四七九」を「一一・五〇二」に、「一一・四五六」を「一一・四七九」に、「一一・四三三」を「一一・四五六」に、「一一・四一〇」を「一一・四三三」に、「一一・三八七」を「一一・四一〇」に、「一一・三六四」を「一一・三八七」に、「一一・三四一」を「一一・三六四」に、「一一・三一八」を「一一・三四一」に、「一一・二九五」を「一一・三一八」に、「一一・二七二」を「一一・二九五」に、「一一・二四九」を「一一・二七二」に、「一一・二二六」を「一一・二四九」に、「一一・一九三」を「一一・二二六」に、「一一・一六〇」を「一一・一九三」に、「一一・一二七」を「一一・一六〇」に、「一一・〇九四」を「一一・一二七」に、「一一・〇六一」を「一一・〇九四」に、「一一・〇二八」を「一一・〇六一」に、「一一・〇〇五」を「一一・〇二八」に、「一〇・九八二」を「一一・〇〇五」に、「一〇・九五九」を「一〇・九八二」に、「一〇・九三六」を「一〇・九五九」に、「一〇・九一三」を「一〇・九三六」に、「一〇・八九〇」を「一〇・九一三」に、「一〇・八六七」を「一〇・八九〇」に、「一〇・八四四」を「一〇・八六七」に、「一〇・八二一」を「一〇・八四四」に、「一〇・七九八」を「一〇・八二一」に、「一〇・七七五」を「一〇・七九八」に、「一〇・七五二」を「一〇・七七五」に、「一〇・七二九」を「一〇・七五二」に、「一〇・七〇六」を「一〇・七二九」に、「一〇・六八三」を「一〇・七〇六」に、「一〇・六六〇」を「一〇・六八三」に、「一〇・六三七」を「一〇・六六〇」に、「一〇・六一四」を「一〇・六三七」に、「一〇・五九一」を「一〇・六一四」に、「一〇・五六八」を「一〇・五九一」に、「一〇・五四五」を「一〇・五六八」に、「一〇・五二二」を「一〇・五四五」に、「一〇・四九九」を「一〇・五二二」に、「一〇・四七六」を「一〇・四九九」に、「一〇・四五三」を「一〇・四七六」に、「一〇・四三〇」を「一〇・四五三」に、「一〇・四〇七」を「一〇・四三〇」に、「一〇・三八四」を「一〇・四〇七」に、「一〇・三六一」を「一〇・三八四」に、「一〇・三三八」を「一〇・三六一」に、「一〇・三一五」を「一〇・三三八」に、「一〇・二九二」を「一〇・三一五」に、「一〇・二六九」を「一〇・二九二」に、「一〇・二四六」を「一〇・二六九」に、「一〇・二二三」を「一〇・二四六」に、「一〇・一九九」を「一〇・二二三」に、「一〇・一七六」を「一〇・一九九」に、「一〇・一五三」を「一〇・一七六」に、「一〇・一三〇」を「一〇・一五三」に、「一〇・一〇七」を「一〇・一三〇」に、「一〇・〇八四」を「一〇・一〇七」に、「一〇・〇六一」を「一〇・〇八四」に、「一〇・〇三八」を「一〇・〇六一」に、「一〇・〇一五」を「一〇・〇三八」に、「一〇・〇〇二」を「一〇・〇一五」に、「九・九八九」を「一〇・〇〇二」に、「九・九六六」を「九・九八九」に、「九・九四三」を「九・九六六」に、「九・九二〇」を「九・九四三」に、「九・八九七」を「九・九二〇」に、「九・八七四」を「九・八九七」に、「九・八五一」を「九・八七四」に、「九・八二八」を「九・八五一」に、「九・八〇五」を「九・八二八」に、「九・七八二」を「九・八〇五」に、「九・七五九」を「九・七八二」に、「九・七三六」を「九・七五九」に、「九・七一三」を「九・七三六」に、「九・六九〇」を「九・七一三」に、「九・六六七」を「九・六九〇」に、「九・六四四」を「九・六六七」に、「九・六二一」を「九・六四四」に、「九・五九八」を「九・六二一」に、「九・五七五」を「九・五九八」に、「九・五五二」を「九・五七五」に、「九・五二九」を「九・五五二」に、「九・五〇六」を「九・五二九」に、「九・四八三」を「九・五〇六」に、「九・四六〇」を「九・四八三」に、「九・四三七」を「九・四六〇」に、「九・四一四」を「九・四三七」に、「九・三九一」を「九・四一四」に、「九・三六八」を「九・三九一」に、「九・三四五」を「九・三六八」に、「九・三二二」を「九・三四五」に、「九・二九九」を「九・三二二」に、「九・二七六」を「九・二九九」に、「九・二五三」を「九・二七六」に、「九・二三〇」を「九・二五三」に、「九・二〇七」を「九・二三〇」に、「九・一八四」を「九・二〇七」に、「九・一六一」を「九・一八四」に、「九・一三八」を「九・一六一」に、「九・一一五」を「九・一三八」に、「九・〇九二」を「九・一一五」に、「九・〇六九」を「九・〇九二」に、「九・〇四六」を「九・〇六九」に、「九・〇二三」を「九・〇四六」に、「九・〇〇〇」を「九・〇二三」に、「八・九七七」を「九・〇〇〇」に、「八・九五四」を「八・九七七」に、「八・九三一」を「八・九五四」に、「八・九〇八」を「八・九三一」に、「八・八八五」を「八・九〇八」に、「八・八六二」を「八・八八五」に、「八・八三九」を「八・八六二」に、「八・八一六」を「八・八三九」に、「八・七九三」を「八・八一六」に、「八・七六九」を「八・七九三」に、「八・七四六」を「八・七六九」に、「八・七二三」を「八・七四六」に、「八・六九〇」を「八・七二三」に、「八・六六七」を「八・六九〇」に、「八・六四四」を「八・六六七」に、「八・六二一」を「八・六四四」に、「八・五九八」を「八・六二一」に、「八・五七五」を「八・五九八」に、「八・五五二」を「八・五七五」に、「八・五二九」を「八・五五二」に、「八・五〇六」を「八・五二九」に、「八・四八三」を「八・五〇六」に、「八・四六〇」を「八・四八三」に、「八・四三七」を「八・四六〇」に、「八・四一四」を「八・四三七」に、「八・三九一」を「八・四一四」に、「八・三六八」を「八・三九一」に、「八・三四五」を「八・三六八」に、「八・三二二」を「八・三四五」に、「八・二九九」を「八・三二二」に、「八・二七六」を「八・二九九」に、「八・二五三」を「八・二七六」に、「八・二三〇」を「八・二五三」に、「八・二〇七」を「八・二三〇」に、「八・一八四」を「八・二〇七」に、「八・一六一」を「八・一八四」に、「八・一三八」を「八・一六一」に、「八・一一五」を「八・一三八」に、「八・〇九二」を「八・一一五」に、「八・〇六九」を「八・〇九二」に、「八・〇四六」を「八・〇六九」に、「八・〇二三」を「八・〇四六」に、「八・〇〇〇」を「八・〇二三」に、「七・九七七」を「八・〇〇〇」に、「七・九五四」を「七・九七七」に、「七・九三一」を「七・九五四」に、「七・九〇八」を「七・九三一」に、「七・八八五」を「七・九〇八」に、「七・八六二」を「七・八八五」に、「七・八三九」を「七・八六二」に、「七・八一六」を「七・八三九」に、「七・七九三」を「七・八一六」に、「七・七六九」を「七・七九三」に、「七・七四六」を「七・七六九」に、「七・七二三」を「七・七四六」に、「七・六九〇」を「七・七二三」に、「七・六六七」を「七・六九〇」に、「七・六四四」を「七・六六七」に、「七・六二一」を「七・六四四」に、「七・五九八」を「七・六二一」に、「七・五七五」を「七・五九八」に、「七・五五二」を「七・五七五」に、「七・五二九」を「七・五五二」に、「七・五〇六」を「七・五二九」に、「七・四八三」を「七・五〇六」に、「七・四六〇」を「七・四八三」に、「七・四三七」を「七・四六〇」に、「七・四一四」を「七・四三七」に、「七・三九一」を「七・四一四」に、「七・三六八」を「七・三九一」に、「七・三四五」を「七・三六八」に、「七・三二二」を「七・三四五」に、「七・二九九」を「七・三二二」に、「七・二七六」を「七・二九九」に、「七・二五三」を「七・二七六」に、「七・二三〇」を「七・二五三」に、「七・二〇七」を「七・二三〇」に、「七・一八四」を「七・二〇七」に、「七・一六一」を「七・一八四」に、「七・一三八」を「七・一六一」に、「七・一一五」を「七・一三八」に、「七・〇九二」を「七・一一五」に、「七・〇六九」を「七・〇九二」に、「七・〇四六」を「七・〇六九」に、「七・〇二三」を「七・〇四六」に、「七・〇〇〇」を「七・〇二三」に、「六・九七七」を「七・〇〇〇」に、「六・九五四」を「六・九七七」に、「六・九三一」を「六・九五四」に、「六・九〇八」を「六・九三一」に、「六・八八五」を「六・九〇八」に、「六・八六二」を「六・八八五」に、「六・八三九」を「六・八六二」に、「六・八一六」を「六・八三九」に、「六・七九三」を「六・八一六」に、「六・七六九」を「六・七九三」に、「六・七四六」を「六・七六九」に、「六・七二三」を「六・七四六」に、「六・六九〇」を「六・七二三」に、「六・六六七」を「六・六九〇」に、「六・六四四」を「六・六六七」に、「六・六二一」を「六・六四四」に、「六・五九八」を「六・六二一」に、「六・五七五」を「六・五九八」に、「六・五五二」を「六・五七五」に、「六・五二九」を「六・五五二」に、「六・五〇六」を「六・五二九」に、「六・四八三」を「六・五〇六」に、「六・四六〇」を「六・四八三」に、「六・四三七」を「六・四六〇」に、「六・四一四」を「六・四三七」に、「六・三九一」を「六・四一四」に、「六・三六八」を「六・三九一」に、「六・三四五」を「六・三六八」に、「六・三二二」を「六・三四五」に、「六・二九九」を「六・三二二」に、「六・二七六」を「六・二九九」に、「六・二五三」を「六・二七六」に、「六・二三〇」を「六・二五三」に、「六・二〇七」を「六・二三〇」に、「六・一八四」を「六・二〇七」に、「六・一六一」を「六・一八四」に、「六・一三八」を「六・一六一」に、「六・一一五」を「六・一三八」に、「六・〇九二」を「六・一一五」に、「六・〇六九」を「六・〇九二」に、「六・〇四六」を「六・〇六九」に、「六・〇二三」を「六・〇四六」に、「六・〇〇〇」を「六・〇二三」に、「五・九七七」を「六・〇〇〇」に、「五・九五四」を「五・九七七」に、「五・九三一」を「五・九五四」に、「五・九〇八」を「五・九三一」に、「五・八八五」を「五・九〇八」に、「五・八六二」を「五・八八五」に、「五・八三九」を「五・八六二」に、「五・八一六」を「五・八三九」に、「五・七九三」を「五・八一六」に、「五・七六九」を「五・七九三」に、「五・七四六」を「五・七六九」に、「五・七二三」を「五・七四六」に、「五・六九〇」を「五・七二三」に、「五・六六七」を「五・六九〇」に、「五・六四四」を「五・六六七」に、「五・六二一」を「五・六四四」に、「五・五九八」を「五・六二一」に、「五・五七五」を「五・五九八」に、「五・五五二」を「五・五七五」に、「五・五二九」を「五・五五二」に、「五・五〇六」を「五・五二九」に、「五・四八三」を「五・五〇六」に、「五・四六〇」を「五・四八三」に、「五・四三七」を「五・四六〇」に、「五・四一四」を「五・四三七」に、「五・三九一」を「五・四一四」に、「五・三六八」を「五・三九一」に、「五・三四五」を「五・三六八」に、「五・三二二」を「五・三四五」に、「五・二九九」を「五・三二二」に、「五・二七六」を「五・二九九」に、「五・二五三」を「五・二七六」に、「五・二三〇」を「五・二五三」に、「五・二〇七」を「五・二三〇」に、「五・一八四」を「五・二〇七」に、「五・一六一」を「五・一八四」に、「五・一三八」を「五・一六一」に、「五・一一五」を「五・一三八」に、「五・〇九二」を「五・一一五」に、「五・〇六九」を「五・〇九二」に、「五・〇四六」を「五・〇六九」に、「五・〇二三」を「五・〇四六」に、「五・〇〇〇」を「五・〇二三」に、「四・九七七」を「五・〇〇〇」に、「四・九五四」を「四・九七七」に、「四・九三一」を「四・九五四」に、「四・九〇八」を「四・九三一」に、「四・八八五」を「四・九〇八」に、「四・八六二」を「四・八八五」に、「四・八三九」を「四・八六二」に、「四・八一六」を「四・八三九」に、「四・七九三」を「四・八一六」に、「四・七六九」を「四・七九三」に、「四・七四六」を「四・七六九」に、「四・七二三」を「四・七四六」に、「四・六九〇」を「四・七二三」に、「四・六六七」を「四・六九〇」に、「四・六四四」を「四・六六七」に、「四・六二一」を「四・六四四」に、「四・五九八」を「四・六二一」に、「四・五七五」を「四・五九八」に、「四・五五二」を「四・五七五」に、「四・五二九」を「四・五五二」に、「四・五〇六」を「四・五二九」に、「四・四八三」を「四・五〇六」に、「四・四六〇」を「四・四八三」に、「四・四三七」を「四・四六〇」に、「四・四一四」を「四・四三七」に、「四・三九一」を「四・四一四」に、「四・三六八」を「四・三九一」に、「四・三四五」を「四・三六八」に、「四・三二二」を「四・三四五」に、「四・二九九」を「四・三二二」に、「四・二七六」を「四・二九九」に、「四・二五三」を「四・二七六」に、「四・二三〇」を「四・二五三」に、「四・二〇七」を「四・二三〇」に、「四・一八四」を「四・二〇七」に、「四・一六一」を「四・一八四」に、「四・一三八」を「四・一六一」に、「四・一一五」を「四・一三八」に、「四・〇九二」を「四・一一五」に、「四・〇六九」を「四・〇九二」に、「四・〇四六」を「四・〇六九」に、「四・〇二三」を「四・〇四六」に、「四・〇〇〇」を「四・〇二三」に、「三・九七七」を「四・〇〇〇」に、「三・九五四」を「三・九七七」に、「三・九三一」を「三・九五四」に、「三・九〇八」を「三・九三一」に、「三・八八五」を「三・九〇八」に、「三・八六二」を「三・八八五」に、「三・八三九」を「三・八六二」に、「三・八一六」を「三・八三九」に、「三・七九三」を「三・八一六」に、「三・七六九」を「三・七九三」に、「三・七四六」を「三・七六九」に、「三・七二三」を「三・七四六」に、「三・六九〇」を「三・七二三」に、「三・六六七」を「三・六九〇」に、「三・六四四」を「三・六六七」に、「三・六二一」を「三・六四四」に、「三・五九八」を「三・六二一」に、「三・五七五」を「三・五九八」に、「三・五五二」を「三・五七五」に、「三・五二九」を「三・五五二」に、「三・五〇六」を「三・五二九」に、「三・四八三」を「三・五〇六」に、「三・四六〇」を「三・四八三」に、「三・四三七」を「三・四六〇」に、「三・四一四」を「三・四三七」に、「三・三九一」を「三・四一四」に、「三・三六八」を「三・三九一」に、「三・三四五」を「三・三六八」に、「三・三二二」を「三・三四五」に、「三・二九九」を「三・三二二」に、「三・二七六」を「三・二九九」に、「三・二五三」を「三・二七六」に、「三・二三〇」を「三・二五三」に、「三・二〇七」を「三・二三〇」に、「三・一八四」を「三・二〇七」に、「三・一六一」を「三・一八四」に、「三・一三八」を「三・一六一」に、「三・一一五」を「三・一三八」に、「三・〇九二」を「三・一一五」に、「三・〇六九」を「三・〇九二」に、「三・〇四六」を「三・〇六九」に、「三・〇二三」を「三・〇四六」に、「三・〇〇〇」を「三・〇二三」に、「二・九七七」を「三・〇〇〇」に、「二・九五四」を「二・九七七」に、「二・九三一」を「二・九五四」に、「二・九〇八」を「二・九三一」に、「二・八八五」を「二・九〇八」に、「二・八六二」を「二・八八五」に、「二・八三九」を「二・八六二」に、「二・八一六」を「二・八三九」に、「二・七九三」を「二・八一六」に、「二・七六九」を「二・七九三」に、「二・七四六」を「二・七六九」に、「二・七二三」を「二・七四六」に、「二・六九〇」を「二・七二三」に、「二・六六七」を「二・六九〇」に、「二・六四四」を「二・六六七」に、「二・六二一」を「二・六四四」に、「二・五九八」を「二・六二一」に、「二・五七五」を「二・五九八」に、「二・五五二」を「二・五七五」に、「二・五二九」を「二・五五二」に、「二・五〇六」を「二・五二九」に、「二・四八三」を「二・五〇六」に、「二・四六〇」を「二・四八三」に、「二・四三七」を「二・四六〇」に、「二・四一四」を「二・四三七」に、「二・三九一」を「二・四一四」に、「二・三六八」を「二・三九一」に、「二・三四五」を「二・三六八」に、「二・三二二」を「二・三四五」に、「二・二九九」を「二・三二二」に、「二・二七六」を「二・二九九」に、「二・二五三」を「二・二七六」に、「二・二三〇」を「二・二五三」に、「二・二〇七」を「二・二三〇」に、「二・一八四」を「二・二〇七」に、「二・一六一」を「二・一八四」に、「二・一三八」を「二・一六一」に、「二・一一五」を「二・一三八」に、「二・〇九二」を「二・一一五」に、「二・〇六九」を「二・〇九二」に、「二・〇四六」を「二・〇六九」に、「二・〇二三」を「二・〇四六」に、「二・〇〇〇」を「二・〇二三」に、「一・九七七」を「二・〇〇〇」に、「一・九五四」を「一・九七七」に、「一・九三一」を「一・九五四」に、「一・九〇八」を「一・九三一」に、「一・八八五」を「一・九〇八」に、「一・八六二」を「一・八八五」に、「一・八三九」を「一・八六二」に、「一・八一六」を「一・八三九」に、「一・七九三」を「一・八一六」に、「一・七六九」を「一・七九三」に、「一・七四六」を「一・七六九」に、「一・七二三」を「一・七四六」に、「一・六九〇」を「一・七二三」に、「一・六六七」を「一・六九〇」に、「一・六四四」を「一・六六七」に、「一・六二一」を「一・六四四」に、「一・五九八」を「一・六二一」に、「一・五七五」を「一・五九八」に、「一・五五二」を「一・五七五」に、「一・五二九」を「一・五五二」に、「一・五〇六」を「一・五二九」に、「一・四八三」を「一・五〇六」に、「一・四六〇」を「一・四八三」に、「一・四三七」を「一・四六〇」に、「一・四一四」を「一・四三七」に、「一・三九一」を「一・四一四」に、「一・三六八」を「一・三九一」に、「一・三四五」を「一・三六八」に、「一・三二二」を「一・三四五」に、「一・二九九」を「一・三二二」に、「一・二七六」を「一・二九九」に、「一・二五三」を「一・二七六」に、「一・二三〇」を「一・二五三」に、「一・二〇七」を「一・二三〇」に、「一・一八四」を「一・二〇七」に、「一・一六一」を「一・一八四」に、「一・一三八」を「一・一六一」に、「一・一一五」を「一・一三八」に、「一・〇九二」を「一・一一五」に、「一・〇六九」を「一・〇九二」に、「一・〇四六」を「一・〇六九」に、「一・〇二三」を「一・〇四六」に、「一・〇〇〇」を「一・〇二三」に、「〇・九七七」を「一・〇〇〇」に、「〇・九五四」を「〇・九七七」に、「〇・九三一」を「〇・九五四」に、「〇・九〇八」を「〇・九三一」に、「〇・八八五」を「〇・九〇八」に、「〇・八六二」を「〇・八八五」に、「〇・八三九」を「〇・八六二」に、「〇・八一六」を「〇・八三九」に、「〇・七九三」を「〇・八一六」に、「〇・七六九」を「〇・七九三」に、「〇・七四六」を「〇・七六九」に、「〇・七二三」を「〇・七四六」に、「〇・六九〇」を「〇・七二三」に、「〇・六六七」を「〇・六九〇」に、「〇・六四四」を「〇・六六七」に、「〇・六二一」を「〇・六四四」に、「〇・五九八」を「〇・六二一」に、「〇・五七五」を「〇・五九八」に、「〇・五五二」を「〇・五七五」に、「〇・五二九」を「〇・五五二」に、「〇・五〇六」を「〇・五二九」に、「〇・四八三」を「〇・五〇六」に、「〇・四六〇」を「〇・四八三」に、「〇・四三七」を「〇・四六〇」に、「〇・四一四」を「〇・四三七」に、「〇・三九一」を「〇・四一四」に、「〇・三六八」を「〇・三九一」に、「〇・三四五」を「〇・三六八」に、「〇・三二二」を「〇・三四五」に、「〇・二九九」を「〇・三二二」に、「〇・二七六」を「〇・二九九」に、「〇・二五三」を「〇・二七六」に、「〇・二三〇」を「〇・二五三」に、「〇・二〇七」を「〇・二三〇」に、「〇・一八四」を「〇・二〇七」に、「〇・一六一」を「〇・一八四」に、「〇・一三八」を「〇・一六一」に、「〇・一一五」を「〇・一三八」に、「〇・〇九二」を「〇・一一五」に、「〇・〇六九」を「〇・〇九二」に、「〇・〇四六」を「〇・〇六九」に、「〇・〇二三」を「〇・〇四六」に、「〇・〇〇〇」を「〇・〇二三」に改め、同表に次のように加える。

令和七年四月から令和八年三月まで	〇・九二二